

ITを活用した高齢者見守りシステム（北海道下川町）

取組概要

ITを活用した高齢者見守りシステム

・高齢者住宅に安否センサー等を設置し、起床・就寝・外出等の行動を感知、自宅から光ケーブルにより役場のサーバに情報を送信し、安否を確認するとともに、緊急時には消防等に通報できる、高齢者の見守りを行うシステムの構築

人口 3,098人 (R4.1.1現在)

担当 保健福祉課

取組の効果

高齢者が住み慣れた自宅で安心した生活

・高齢者の孤独死がほとんどなくなり、また、家のなかで体調が急変しても短時間で救急搬送され、住み慣れた自宅で安心した生活が送れるようになった。

創意・工夫した点

他事業で整備したITを活用

- ・他の事業で全戸に整備した光ケーブルを活用することで、高齢者宅と役場の回線工事をせずに見守りシステムの構築と経費削減が図られた。
- ・安否センサー・熱センサー・ガスセンサーとITを組み合わせることにより、高齢者の見守りの構築が図られた。

他団体へのアドバイス

新しいIT技術の導入

- ・新しいIT技術を活用した行政サービスの推進。
- ・広域の市町村による、新たな行政サービスのためのシステム構築の検討

